

ほっ

図書部

4号

平成31(2019)年4月

船橋市西図書館 YA 担当

新刊紹介

担当からのおすすめ！
気になったら、
YAコーナーへ！GO!

『書評キャンパス at 読書人 2017』

大学生と「週刊読書人」編集部
読書人 Y019シ

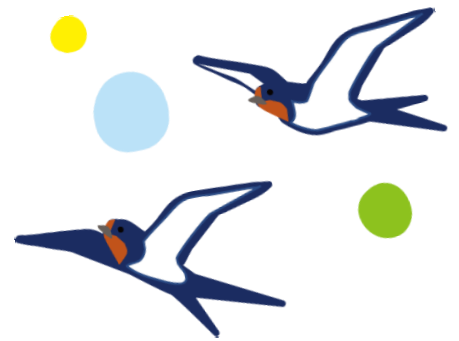
書評ってなんだろ？日曜日の新聞に書いてあるやつ？？はい。「書評」とは、本をこれから読む人に紹介することです。この本は、「読書離れ”てない先輩たちのおすすめ本リスト。現役大学生ってどんな本を読んでいるのかな。



『怪盗インビジブル』

行成薫 講談社 YFユカ

北中七不思議の一つ「怪盗インビジブル」は、生徒の一番大事にしているものを盗んでいくと言う。卓球ラケット・友達のスマホ…。もしあなたのとこに怪盗インビジブルが来たら、一体何を盗まれると思う？



『清水式定期テストで結果を出す50の習慣』

清水章弘 PHP 研究所 Y375シ

テストだけがすべてじゃないけど、やっぱりいい点取りたいなあ…という誰もが持つ願望を満たしてくれる(かもしれない)本。勉強法は数あれど、自分に合う方法はなかなか見つからないもの。まずはできることから試してみよう！



<特集> 試験で出会う・試験に備える～図書館って役に立つ?～

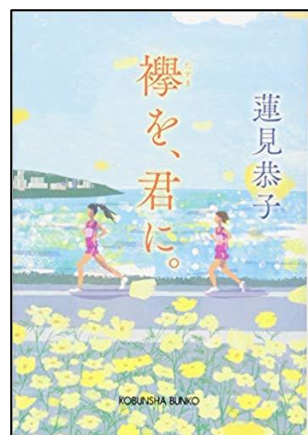
やだな～って思っても、みんなのやらなきゃいけない重大任務「ザ・試験」！
そのためには、まず相手（＝試験）を知ってみよう。そしたら、好きになっちゃうかも？
今回は2018、2017年全国公立高校入試国語問題に使われた本を中心に紹介します。

小説・エッセイ編

2018年、47ある都道府県の公立高校入試国語問題でいちばん試験問題に使われたのは『リーチ先生』です。（ちなみに、千葉県は沖方丁著『光圀伝』でした！）これはその昔、日本人にとっても影響を与えたイギリス人陶芸家バーナード・リーチ先生についての物語。2位は、『ぼくのとなりにきみ』でした。そして2017年の第1位は駅伝にける女子高生のお話『櫻を、君に。』でした。いろんなスポーツがあるけれど、駅伝ほどひとりの責任が重くてその分みんなでがんばる喜びが強いスポーツはないように思います。

この3つは、原田マハ、小嶋陽太郎、蓮見恭子という作家さんが書いたものですが、特に原田さんは多くの作品が試験問題になっています。その他、宮下奈都、あさのあつこ、瀬尾麻衣子、辻村深月、星野道夫（冒険家で、自分の体験をエッセイとして発表していました）という作家さんたちの作品も要チェック！

短編作品もありますよ。おすすめは、澤西祐典「辞書に描かれたもの」（『小辞譚』の中のひとつ）。新品の辞書をもつ主人公と使い古されたぼろぼろの辞書をもつ同級生。主人公の彼に対するビミョウな気持ちが書かれています。国語が苦手な人は、まず短いお話から手を付けるのもありですよ。ちなみに、この本は小さくて渋くて、手に取るだけでちょっと文学してる感を味わえます。



→左から『リーチ先生』原田マハ・集英社（Fマ）『ぼくのとなりにきみ』小嶋陽太郎・ポプラ社（YFコ）『櫻を、君に。』蓮見恭子・光文社文庫（YFハ）『小辞譚 辞書をめぐる10の掌編小説』猿江商會（Fシ）



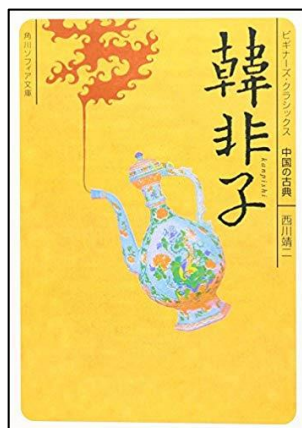
<次号予告> ★4月～6月の特集展示 「趣味探し」★

今ハマっていることがある人も、ない人も、新しい趣味を探してみたいか？
写真・自転車・料理…などなど、趣味になりそうなことが載っている本を紹介していきます。

古典・評論編

古典が難しくて逃げだしたいって思う人に、おすすめしたいのは角川ソフィア文庫と日本の古典をよむシリーズです。2017、2018年ともに、多くの作品がこのレーベルから出題されていました。つまり、このふたつのシリーズは、**試験に出やすい+わかりやすい！**学生に**役立つ本**なのです。古典の名作『宇治拾遺物語』も中国の古典『韓非子』も、このふたつに頼れば間違いなし！

さて、評論の2018年**1位**は、亀田達也著『モラルの起源』でした。“モラル”ってなんでしょうね？この本は、“新書”です。しかも、**大人向け**新書レーベルの岩波新書からでています。うわあ、難しそう…って、活字きらい病が出る前に、待って！**読めなんて言いません！**みなさんが今日知っておくべきは**そういう本も高校入試に使われる**というところです。そして、図書館にはそういう本、たくさんあります。評論文は「AだからB、つまりC」という風に、話がつながる文章なので、実はコツさえつかめば**得点をとりやすい**のではないかな。ということで、まずは**岩波ジュニア新書**や**ちくまプリマー新書**から手に取ってみてはどうでしょう。また、筑摩書房からでている**〈高校生のための〉シリーズ**は有名著者の作品が、**試験問題みたいな形**で紹介しており、さらに**詳しい解説付き**という優れもの。中でも、**鷲田清一、内田樹、外山滋比古、池内了**といった方たちは、高校・大学どちらの受験でも試験問題に使われやすい人々です。図書館もみんなの勉強の役に立ってわかってもらえたかな？



→左から『日本の古典を読む 15 宇治拾遺物語・十訓抄』小学館 (Y918 ㊦) 『韓非子』角川ソフィア文庫・KADOKAWA (Y124 ㊦) 『モラルの起源』亀田達也・岩波書店 (361 ㊦) 『ちくま評論入門』筑摩書房 (Y041 ㊦)



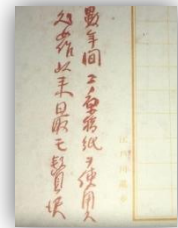
平成31年1月27日(日)～夢を応援! 図書館★ミライ図鑑 vol.2～
「カリスマ編集長が語る! 本を“創る”ということ」を開催しました!



船橋市在住で元東京創元社の社長である戸川安宣先生をお招きし、お話を伺いました!

戸川先生は、有栖川有栖・北村薫・宮部みゆきなどのベストセラー作家を世に送り出したカリスマ編集長。作家さんから原稿をいただいてから、本になるまでの編集者のお仕事について、具体的に説明していただきました。

最近はパソコンで小説を書く先生がほとんどだけれど、今でも原稿用紙を使って書くこだわりの作家さんもいるとか。当日



↑江戸川乱歩の書いた字!

参加者には、貴重な江戸川乱歩の原稿用紙(複製・江戸川乱歩の自筆つき!)がお土産に配られました。出版不況で業界も大変ですが、「本が好き!」という人には楽しい仕事なので、若い人達にがんばって欲しいとのメッセージもいただきました。ちなみに一番印象に残っている担当作家さんは「宮部みゆき」さんだそうです。

<西図書館 Q&A ~図書館で勉強!~>

Q. 学習室はありますか?



西図書館には、予約制の「学習コーナー」があります。船橋市か隣接市に住んでいる人・船橋市の学校に通っている人が使えます。図書館資料利用券を作ってから、3階のカウンターで予約をしてね。行事が無い日には、3階の多目的室を学習室として開放している時もあるよ!

Q. 勉強に役立つ本はありますか?



特集で紹介した国語の他にも、英語・数学・生物など、色々な教科に関係する本があるよ! YA コーナーは学習コーナーのすぐ横にあるから、勉強のついでにのぞいてみてね。



勉強も大事だけど、ゴールデンウィークは10連休もあるみたいだし。どこにお出かけしようかなあ〜

次号は7月に発行予定です!



発行 船橋市西図書館

☎ 047(431)4385

ホームページはこちらから!

<https://www.lib.city.funabashi.chiba.jp/>

スマホ



ケータイ

